

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 1 部門第 2 区分
 【発行日】平成 18 年 3 月 23 日 (2006.3.23)

【公表番号】特表 2005-518231 (P2005-518231A)
 【公表日】平成 17 年 6 月 23 日 (2005.6.23)
 【年通号数】公開・登録公報 2005-024
 【出願番号】特願 2003-567511 (P2003-567511)
 【国際特許分類】

A 6 3 B 37/00 (2006.01)

【F I】

A 6 3 B 37/00 F

【手続補正書】

【提出日】平成 18 年 1 月 31 日 (2006.1.31)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

コアと；

前記コアの周りに配置されるカバーであって、厚さを有し、前記カバー層の外側表面に沿って少なくとも 2 つでのディンプルの群を画成し、第 1 のディンプルの群は前記カバー層の厚さより大きい深さを持つディンプルを含み、前記第 2 のディンプルの群は前記カバー層の厚さより小さい深さを持つディンプルを含み、前記第 1 の群は、少なくとも、前記カバー層の外側表面に沿って画成される全数のディンプルのうちの少数部分を構成するカバー層を有するゴルフボール。

【請求項 2】

厚さと外側表面に沿って複数のディンプルを持つカバーを有するゴルフボールを形成するための成形装置であって、該成形装置は：

半球状の第 1 成形面を画成する第 1 の成形要素であって、前記第 1 成形面は少なくとも 2 つの前記ディンプルを形成する外方に延びる突起の群を持ち、前記群は互いに突起の高さが異なるところの第 1 の成形要素と；

半球状の第 2 成形面を画成する第 2 の成形要素であって、前記第 2 成形面は少なくとも 2 つの前記ディンプルを形成する外方に延びる突起の群を持ち、前記群は互いに突起の高さが異なり、前記第 2 の成形要素は、前記第 1 の成形要素と係合したとき前記第 1 成形面と前記第 2 成形面によって全体的に球形状の成形チャンバができるようにされている第 2 の成形要素と；

ゴルフボールを形成するための一又は複数の流動性材料を受け入れ、且つその材料を前記成形チャンバ内に導くための手段と；

を有し、

前記第 1 成形面の外方に延びる前記突起の少なくとも一つの群と前記第 2 成形面の外方に延びる前記突起の少なくとも一つの群は約 0.005 インチから 0.050 インチの範囲の高さを持つ成形装置。

【請求項 3】

ゴルフボールコア又は中間ボールアセンブリと前記コア又は中間ボールアセンブリの周りに設けられた外側カバー層を形成するための反応注入成形装置であって、該成形装置は；

半球状の第 1 成形面を画成する第 1 成形型と；

半球状の第 2 成形面を画成する第 2 成形型であって、前記第 1 及び第 2 成形面は前記カバー層に沿ったディンプルを形成する隆起領域の第 1 の群と、各々が前記外側カバー層の厚さより大きい高さを持つ隆起領域の第 2 の群を持ち、

前記カバー層を形成するために使用する一又は複数の流動性反応物を受ける手段と；
を有し、

前記第 2 の隆起の群は前記カバー層に沿った全数のディンプルの少数部分を構成する、
成形装置。

【請求項 4】

ボールの外表面に沿って特定割合で深いディンプルを持つゴルフボールを製造する方法であって：

ゴルフボールにおけるディンプルを形成する隆起領域の第 1 の群と、ゴルフボールにおける深いディンプルを形成する隆起領域の第 2 の群を持つ成形面をから得られる全体的に球形の成形チャンバを画成する成形装置を準備し、

流動材料を準備し、

前記成形チャンバ内にコア又は中間ボールアセンブリを配置し、

前記流動性材料を成形チャンバ内の前記コア又は中間ボールアセンブリと前記成形面との間に導入し、

前記流動性材料を硬化してゴルフボールを形成し、

前記隆起領域の第 2 の群は、前記ボールの外表面に沿った全ディンプル数の少なくとも 5 %を構成する、

ゴルフボールを製造する方法。